

# 議会だより だいせん

58号

2019年10月31日発行  
鳥取県大山町議会



**一般会計決算を不認定** ..... 2

**14人が一般質問** ..... 14

**視察報告 先進地から学ぶ** ..... 28

9月  
定例会

[www.daisen.jp/gikai/](http://www.daisen.jp/gikai/)

大山町議会 検索



全員参加の組体操  
(中山中学校)

# 一般会計決算を不認定

## 機構改革も見直しを迫る

9月定例会を5日から21日間の会期で開き、平成30年度各会計決算、令和元年度補正予算などを審議しました。

平成30年度一般会計歳入歳出決算では、同和対策事業の地区活動費補助金の使途や在り方、戦没者追悼式の消耗品として購入した町長着用の正装礼服購入の是非などを巡り賛否が分かれ、採決の結果、賛成少数で不認定となりました。決算審査の結果、発議した決議案2件は全会一致で可決し、機構改革の見直しを強く迫りました。(関連5・9ページ)

そのほかに上程された31議案は原案通り可決しました。



### 戦没者追悼式

毎年869人の戦没者を追悼しているが、30年度は町長が着用する礼服(8万円)を購入した

**35万円**



### 公園トイレの洋式化

仁王堂公園と名和公園のトイレを洋式化する

**497万円**



### 庁舎などのセキュリティを強化

本庁、各支所、保健福祉センターに電気錠や監視カメラを設置する

**454万円**

**令和元年度に追加する主な事業**

# 平成30年度

合併後初

9月  
定例会

## 平成30年度に 行われた主な事業



### 大山開山 1300 年祭

地方創生推進事業として県および  
西部市町村が合同で行った  
4207 万円



### 陸上競技場を全面改修

名和陸上競技場の走路レーンなどの  
改修で環境整備をはかった  
1 億4580万円



### 避難所などに防災用Wi-Fiを設置

町内指定避難所などにフリーWi-Fiを設置し  
災害時の通信手段を確保した  
2499 万円



### 災害復旧

台風24号などによる自然災害に  
すみやかに対応した  
8804 万円

定例会

質疑・討論

審議結果

委員会報告

一般質問

視察報告

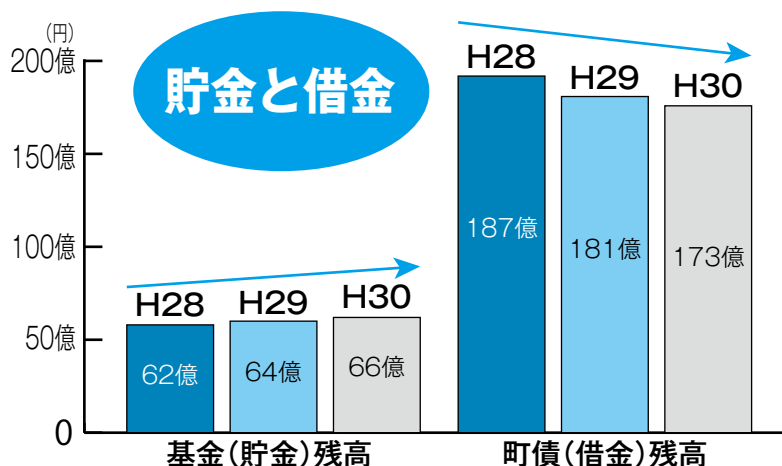
お知らせ

# 町の財政状況は どげんなりなところもある

平成30年度普通会計の決算は、歳入総額113億5389万円（前年度比5億2169万円の減）、歳出総額106億2098万円（前年度比6億4033万円の減）となりました。

また、基金（貯金）残高は、一般会計が59億233万円、特別会計が7億3801万円で、前年度に比べ、両会計を合わせて1億9319万円の増となりました。

町債（借金）残高は、一般会計が105億9963万円、特別会計と水道事業会計66億5612万円で前年度に比べ両会計を合わせて8億2558万円の減となっています。



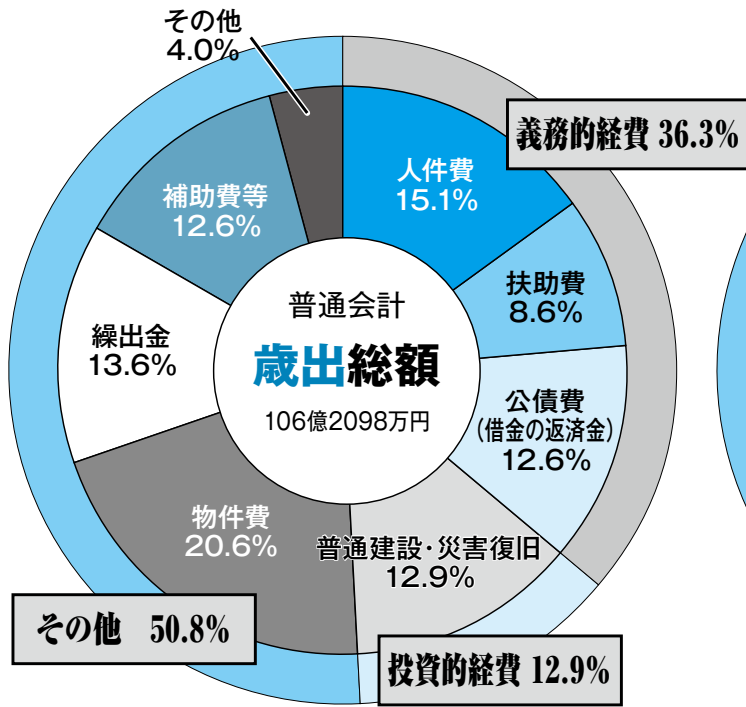
## ○町債残高（平成30年度末現在）

会計名		30年度末現在高	29年度末現在高	増減額
一般会計		105億9963万円	109億142万円	△3億179万円
特別会計	住宅新築資金等貸付事業	661万円	1008万円	△347万円
	診療所	2億3605万円	2億4715万円	△1110万円
	農業集落排水事業	28億4580万円	30億5734万円	△2億1154万円
	公共下水道事業	25億4561万円	27億3747万円	△1億8016万円
	風力発電事業	1727万円	3511万円	△1784万円
	宅地造成事業	2235万円	2980万円	△745万円
	索道事業	8131万円	8131万円	0万円
	小計	57億5500万円	62億1183万円	△4億3156万円
水道事業	9億112万円	9億9335万円	△9223万円	
合計	172億5575万円	180億8133万円	△8億2558万円	

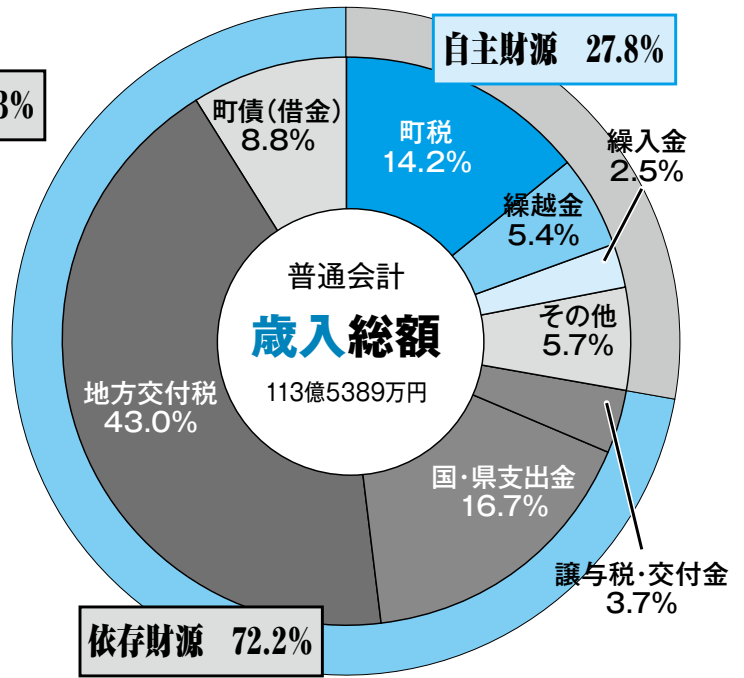
## ○基金残高内訳（平成30年度末現在）

会計名	(主な)基金名	30年度末現在高	29年度末現在高	増減額
一般会計	財政調整基金	18億4642万円	18億3667万円	975万円
	減債基金	6億8398万円	6億8123万円	275万円
	公共施設整備基金	8億7587万円	8億7506万円	81万円
	合併振興基金	14億4391万円	13億5971万円	8420万円
	ふるさと応援基金	4億960万円	4億9703万円	△8743万円
	その他	6億4255万円	6億3996万円	259万円
	小計	59億233万円	58億8966万円	1267万円
特別会計	索道基金	9170万円	9248万円	△78万円
	国民健康保険基金	1億3586万円	3758万円	9828万円
	風力発電基金	2694万円	2594万円	100万円
	その他	4億8351万円	4億149万円	8202万円
	小計	7億3801万円	5億5749万円	1億8052万円
合計		66億4034万円	64億4715万円	1億9319万円

### 【使ったお金】



### 【入ったお金】



**普通会計とは**

一般会計に土地取得・住宅新築資金等貸付事業・開拓専用水道事業の3つの特別会計を加えたものです。



監査委員からの報告を受ける町執行部

## 監査委員の意見

—平成30年度決算審査—

代表監査委員 石黒 澄 男  
 議会選出監査委員 西山 富三郎

#### ○報酬支払事務の見直しを

農業委員会委員の報酬支払事務において、報酬額から各委員の貯蓄分などの引き去り処理が手作業で行われているものがある。事務の効率化・負担軽減・事務処理ミス防止のため、かかる費用との兼ね合いを考慮しつつ、電算化を検討されたい。

#### ○長期の未収金は対策を

前年度と同額の未収金があがっている。徴収努力は認めるが、同一案件で長期未収のまま同額を計上し続けているものがある。改善策を講じられたい。

#### ○機構改革は慎重に

職員の定員事情が厳しいなか、事業を精査して、廃止などを視野に入れた「事業・事務」の見直しを検討されたい。

平成30年7月に行われた機構改革により、少なからず混乱が生じている。今後組織体制の見直しの際は十分に検討したうえで行われたい。

# チェックします 9月定例会

# 議論の質疑

## 質疑

### 補正予算と財産の取得

公園トイレの洋式化

〔大森議員〕 対象の公園は。

〔建設課長〕 仁王堂と名和公園トイレで、和式から洋式に変更する。合わせてベビーカー・ベビーベットの設置を考えている。

有害鳥獣の捕獲奨励金

〔野口昌議員〕 捕獲奨励金270万円増額の内訳と想定捕獲頭数は。

〔農林水産課長〕 内訳は、イノシシが有害期100頭、狩猟期200頭、シカ10頭である。

昨年度同等の700頭を想定している。



捕獲したイノシシ

消防車の購入

〔米本議員〕 積雪時対策として高床車がふさわしいと考えるが、低床車の購入により高床車はなくなるのか。

〔総務課長〕 名和分団との協議の結果である。無くなるかどうかは把握していない。

〔西尾議員〕 防災監からの助言は。

〔総務課長〕 仕様決定は防災監と相談し、分団とも協議した。

〔加藤議員〕 高床車と低床車の地面からの高さの違いは。

〔総務課長〕 高さの違いは後で資料を提出する。

〔門脇議員〕 自動車会社を指定するのはおかしい。入札として望ましくない。

〔総務課長〕 納入実績があり、団員も操作に慣れている車両である。



乗り降りしやすい低床の消防車

〔近藤議員〕 低床車で災害時は大丈夫か。

〔総務課長〕 現在は低床車が主流である。乗り降りや消火活動を優先した。

〔町長〕 一番大切なのは災害時の機動性である。防災監の知識、現場で使用する団員の意見が重要である。

## 質疑

## 条例の制定と改正

会計年度任用職員制度

南光河原駐車場

〔近藤議員〕会計年度任用職員制度が導入されるが、メリット・デメリットは。

〔野口昌議員〕1台1日につき1000円。1時間で出庫しても1000円なのか。

〔総務課長〕メリットは全国の市町村で臨時職員・嘱託職員の扱いが統一される。デメリットは退職金や昇給などで、来年度は約6700万円人件費が増加する。

〔観光課長〕博労座の駐車場利用に準じている。24時間でも、1時間でも1000円である。

〔西尾議員〕利用者に配慮した条例なのか。

〔観光課長〕利用しやすく、県と協議していく。



条例がつくられた駐車場

滞納による行政サービス等の制限措置

〔大森議員〕滞納による行政サービスの制限項目の記載を条例から規則に変更する理由は何が。

〔税務課長〕実際そういう面がある。条例改正が遅れていると考える。

〔税務課長〕各課の行う事業も年々変わり把握しきれていない。新規事業を迅速に加えるための条例から規則への変更である。

〔町長〕町民の権利を制限しないのは大事だが、納税は国民の義務である。税務課に相談いただければ制限までは受けない。議会で認められた条例を越えることはないと考え。

〔門脇議員〕住民の権利を制限することが条例だと事務執行に支障があったのか。滞納者本人ではなく世帯の人に制限がかかるのも疑問である。

〔森本議員〕サービスの制限が滞納者本人と世帯員にかかるものが混在している。規則になれば議会を経ないので、

〔税務課長〕把握していない。規則が変わっても運用は変わらない。

〔近藤議員〕条例から規則にし、議会の審議を経ないことに問題がある。事業課と税務課との単なる連携不足ではないのか。

## 討論

○反対

〔大森議員〕悪質な滞納は別として、行政サービス制限は避けるべき。今回の改正で議会を経ることなく変更できることになる。住民の福祉・権利に直接関わることは議会の審議を経るべき。

〔池田議員〕規則になることよって議会を通らなくなる。住民代表の議会を通すべき。

○賛成

〔大杖議員〕特例措置として分納や納税者の立場を勘案したうえで進めればサービスの停止にならない。

〔加藤議員〕条例改正しないままだと、事業が変わるたびに条例改正が必要で、サービス制限対象外の事業も出かねない。

〔近藤議員〕税滞納で子どもがサービス制限を受けた実例もあった。子育て施策に反する。

納税者と悪質な滞納者が同じようにサービスを受けられることになる。規則として柔軟に対応し、納税をしている住民を守るべきである。特例措置もある。恣意的な運用がされることはない。

〔森本議員〕サービスの制限が滞納者本人と世帯員にかかるものが混在している。規則になれば議会を経ないので、

納税者と悪質な滞納者が同じようにサービスを受けられることになる。規則として柔軟に対応し、納税をしている住民を守るべきである。特例措置もある。恣意的な運用がされることはない。

# 質疑

## 一般会計決算

### ファミリリー

#### サポートセンター

〔吉原議員〕利用件数は増えているのか。利用者数を増やす取り組みは。

〔ごども課長〕29年度からは大幅減少した。

まずは、「お願い会員」を増やすことから考えている。

### ホームページ管理委託料

#### 〔岡田議員〕

ホームページで、広報紙などのページ送りができない。改善は出来ないのか。

〔町長〕今年度ホームページのリニューアルをする。

〔池田議員〕更新も委託料に含まれるか。

〔町長〕保守管理のみ。更新は担当課が行う。

### 緊急通報体制整備事業

〔加藤議員〕この事業費は不要額が多いが、使い勝手が悪いのか。

〔福祉介護課長〕新規利用者がなく施設入所などもあり減となった。

今年度はさまざまなサービスが選択できるようにしている。

### 戦没者追悼式事業

〔近藤議員〕戦没者追悼式の消耗品費が29年度

の倍額になっているが、理由は。

〔住民課長〕町長の式用正装礼装費が含まれている。

〔近藤議員〕礼装はこれ以外に着用しないのか。

〔町長〕遺族会からの要望があり購入した。これ以外では着用しない。

### 老人クラブ育成事業

〔近藤議員〕老人クラブ費増額の理由は。

〔福祉介護課長〕少人数区分も対象とするとともに、団体の人数により補助額も変更したためである。

### 同和地区活動費

〔近藤議員〕同和対策補助事業で3地区に計410万円補助している。

それを旅費、日当、

新聞代などに使われているが、根拠は。

〔福祉介護課長〕各団体の旅費規程などによる。

〔副町長〕個別の要項がないところもある。今後改正していきたい。

### 河川水質・悪臭物質測定

〔西尾議員〕悪臭、水質検査は毎年同じ結果である。苦情はないのか。

〔住民課長〕住民から苦情があった際には原因追求している。公表方

法は今後考えていく。

〔門脇議員〕水質検査の基準は。

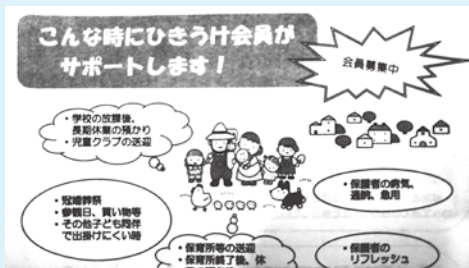
〔住民課長〕通常は、生活環境に適するかどうか、特定の事業所の水質検査の要望が住民からあれば、排水に適するかどうか、である。

### 災害復旧費

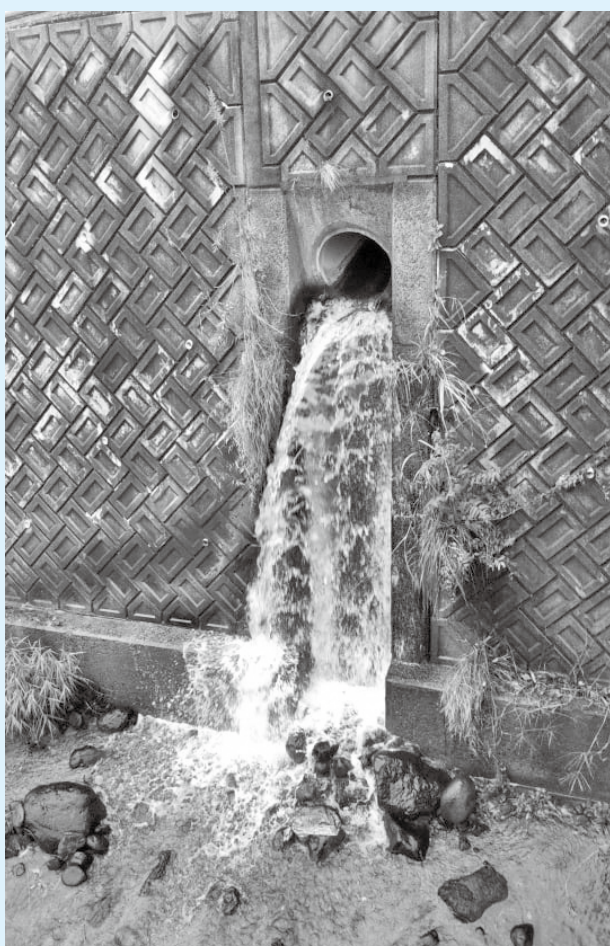
〔西尾議員〕町単独の災害復旧費は3400万円である。国や県からの災害復旧費がないと

今後毎年、単町費となるのか。

〔農林水産課長〕3400万円は平成30年9月の災害分である。防災・減災であれば事前に町債でやるものと考えられる。交付金でできるものは交付金で、できないものは単独で行う。



ファミサポの申込用紙



川に流れ込む排水



## 大山参道市場運営事業

### 一般会計全般

【西尾議員】参道市場の委託料、指定管理料などをどう考えるか。

【米本議員】竹口町政になり、初めての当初予算から決算までの執行だったが、振り返ってみてどうか。

【観光課長】指定管理料については(株)さんどうの決算を見ながら考えたい。

【町長】一番の課題である人口減少対策として、子育て施策での取り組みが合併後初の人口社会増につながった。今後も検証し翌年度へつなげていきたい。

## 夕陽の丘神田運営事業

【加藤議員】夕陽の丘神田の宿泊が廃止されたが、大山旅館組合と連携して見えた成果とは。

【大森議員】66億円ある基金の活用方針は。

【観光課長】大山の旅館を生徒・学生が、延べ1929泊利用した。

【町長】積極的に使うのならばまずはお金の活用と応援基金などから考えている。



宿泊が廃止された山香荘

## 討 論

### ○反対

【野口俊議員】戦没者追悼式で着用する正装礼

服が消耗品費で購入されている。小中学校の入学式で学校長も着用しているが、公費では買っていない。県にも確認したが私服には公費は出してはいない。近

隣でも公費で買ったところは少ない。

【大森議員】同和对策事業は見直すべき。格差は改善されたのに、いまだに同和对策に約1億円が使われている。地区活動費から任意団体の集会参加費として100万円近く使われているなど、不

適切な財政執行が行われていると判断せざるを得ない。

【加藤議員】公費で購入すべきものでない物や、地区活動費などの補助

金全般が自由に使えるように支出されている。説明不足の案件が就任当初から続いており改善されていない。

【岡田議員】農業後継者問題など、農業振興に幅広く取り組んでいる。

【西山議員】議会の決算認定の法的性格は確認行為であり、決算の認否が効力に影響しない。ただし、議会が認定しないと町長の政治的責任が残る。

町長の正装礼服は遺族会からの要望であり、公費で購入するかは町長の判断である。

【近藤議員】行政の継続性から、人間ドックの検診センター化についても前町長の時のことで知らないということにはならない。

赤字をどう埋めるのか。

【健康対策課長】地域医療の拠点であることは間違いない。

各所長と経営について協議したい。

## 質 疑

### 診療所特別会計決算

【近藤議員】大山診療所は4年前に町の検診センター化で2千万円を投資したが、平成30年度の同診療所の人間ドック利用は何件か。

【健康対策課長】29年度は128件、30年度は町外でのドック利用も助成対象としたこともあり、20件であった。

【近藤議員】行政の継続性から、人間ドックの検診センター化についても前町長の時のことで知らないということにはならない。

赤字をどう埋めるのか。

【健康対策課長】地域医療の拠点であることは間違いない。

各所長と経営について協議したい。



一般会計決算は決算審査特別委員会では認定でしたが、本会議で採決の結果、不認定となりました。

国も県も同和地区に補助することを認めている。町の条例通りに執行している。

【岡田議員】農業後継者問題など、農業振興に幅広く取り組んでいる。

【西山議員】議会の決算認定の法的性格は確認行為であり、決算の認否が効力に影響しない。ただし、議会が認定しないと町長の政治的責任が残る。

町長の正装礼服は遺族会からの要望であり、公費で購入するかは町長の判断である。

【近藤議員】行政の継続性から、人間ドックの検診センター化についても前町長の時のことで知らないということにはならない。

赤字をどう埋めるのか。

【健康対策課長】地域医療の拠点であることは間違いない。

各所長と経営について協議したい。

## 町長の予算執行について申し申す

# 決算審査特別委員会報告

今年度は竹口町長就任後、自身が手がけた初めての予算執行決算であった。

付託を受けた15議案は分科会形式により会期中3日間、全員による審議を20日に行った結果、付託された15議案すべてを認定した。

その上で、懸念された点について次の附帯決議を提出するとともに、機構の見直しを求める決議を提出した。

### 【附帯決議】

議会は平成30年度決算審査の結果、不適切な支出・事務手続きや職員の交通事故も多く公務中の緊張感欠如が懸念された。税金で執行される行政事務が町民の信頼を損なうことのないよう、コンプライアンスの徹底を求めた。

### 【組織機構の見直しの決議】

○室・課を超えて関連する業務は、住民サービス低下にならないよう連携を取らねばならない。

○総務課・財務課で関連する業務の責任所在を明確にするよう改められたい。

○観光と商工の関連する事業は連携が円滑になるよう組織機構を見直されたい。



実務の確認に重要な朝礼

# 一目でわかる 審議結果

7月臨時会  
9月定例会  
提出議案

## ◇賛否の分かれた議案◇

7月臨時会

○は賛成、×は反対あるいは保留

議案	森本貴之	池田幸恵	門脇輝明	加藤紀之	大原広巳	大杖正彦	米本隆記	大森正治	野口昌作	近藤大介	西尾寿博	吉原美智恵	岡田聡	野口俊明	西山富三郎	結果
財産の取得について（小学校児童用端末）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成14人可決

9月定例会

議案	森本貴之	池田幸恵	門脇輝明	加藤紀之	大原広巳	大杖正彦	米本隆記	大森正治	野口昌作	近藤大介	西尾寿博	吉原美智恵	岡田聡	野口俊明	西山富三郎	結果
大山町税等の滞納に対する行政サービス等の制限措置に関する条例の一部を改正する条例について	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	賛成10人可決
平成30年度大山町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	賛成7人不認定
平成30年度大山町住宅新築資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	賛成14人認定
平成30年度国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	賛成14人認定
財産の取得について（名和第2分団 消防ポンプ車）	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	賛成10人可決

## ◇全会一致で可決・同意の議案◇

7月臨時会 補正予算(1件)

9月定例会 条例(7件)、決算認定(12件)、補正予算(6件)、人事(1件)、財産の取得(1件)、決議(2件)

議案の議決は、杉谷洋一議長を除く15人で行います。

# 常任委員会の活動

大山町議会では、常任委員会で議案や事務・事業などを分担し、より詳細な審査を行っています。

## 総務 常任委員会

### 指定避難所

- Q 台風が多く発生しているが、町の指定避難所の数は。
- A 中山地区に6、名和地区に6、大山地区に8カ所で、地区公民館、トレーニングセンター、小・中学校、改善センター、そのほかを指定している。

総務課

### 町営住宅使用料の滞納

- Q 町営住宅の使用料（家賃）の滞納状況は。
- A 9月10日現在で駐車場使用料も含め、滞納者は実質14人で約400万円ある。

財務課

### 公有財産

- Q 公有財産の売却や交換は。
- A 道路敷、保安林などを個人や法人に売却した。水路2カ所を土地交換した。

財務課

## 閉会中に意見交換会を実施



大山町消防団から話を聞く委員

9月11、12、13、17日の4日間、平成30年度決算、令和元年度補正予算など、所管する各課から説明を受け審査するとともに、町内の現地調査を行った。  
9月定例会前の7月には大山町消防団との意見交換を行い、本部団長、防災監など、計21人の関係者から、近年の火災の発生状況などについて話を聞いた。団員の高齢化による悩みや課題も聞き、町消防団を所管する総務課に提言も行っている。

## 貨客混載事業の実験

- Q どんな形で行われるか。
- A 県の実証実験に大山町も参加する。貨物・公共交通事業者、自主組織（やらいや逢坂、まちづくり大山）が参加する。自主組織の参加は全国的にも珍しい。



ボランティアによる送迎

企画課

## RPA

- Q RPAによる作業とは。
- A Rはロボット、Pはプロセス、Aはオートメーションの略語。パソコンを用いたデータ照合やデータ転記など単純作業をソフトウェアのロボットが自動で代行するもの。業務の効率化、人的ミスの防止などが期待できる。

総務課

# 教育民生 常任委員会

## 河川水質・悪臭物質測定

- Q 大規模養鶏や養豚で悪臭の苦情が出ている。年1回では実態にそぐわないのでは。
- A 悪臭物質測定を4カ所行っている。風向きも考慮して測定していきたい。

住民課

## タクシー助成制度

- Q デマンドバスとの違いは。
- A 一定の要件を満たす高齢者および障がい者などが対象である。半額助成(1,000円以下は500円)、町外は医療機関のみが対象である。

福祉介護課

## 健康づくりの推進

- Q 事業費が前年度比720万円増えた要因は。
- A 健診補助対象年齢の見直しや特定検診の無償化などにより受診率が増え、扶助費や委託料が増額となった。

健康対策課

## “はっけよい” 元気な小学生力士



名和小学校 相撲大会

9月11、12、13日の3日間、所管する各課から、条例改正、平成30年度決算、令和元年度補正予算などの上程議案の説明を受け審査した。  
13日には、町内視察も行き、名和小学校の公開参観日(授業・校内相撲大会)を視察した。教室内での授業、さまざまな自由研究、そして、青空のもと小学生力士の元気あふれる相撲を観戦した。

## 放課後児童クラブ

- Q 時間延長の影響は。また、職員配置は。
- A 今年度から希望者は19時まで延長となったが混乱は見られない。10人に対し1人の職員配置だが、30年度中途から利用児童増加で1人増員し対応している。

こども課

## 広域入所委託料

- Q 広域入所とは。その委託料の基準は。
- A 各保育施設の、公立・私立や認定資格により異なる。保護者の意向で町外の保育施設を利用する時は町が委託料を負担しなければならない。

幼児・学校教育課

## 図書巡回サービス

- Q 図書巡回サービスの状況は。
- A 大山地区が中心だが要望があれば他地区も回る。巡回車が古くなっているが、いまのところ更新は考えていない。

社会教育課

## 経済建設 常任委員会

### 大山観光案内所

- Q 開山 1300 年祭の効果は。  
 A 案内所来館者数は前年度比 55%増だった。外国人増加が目立ち香港が一番多く次いで韓国だった。

観光課

### 宅地造成

- Q 町内で新築住宅の建設が目立つが宅地造成の状況は。  
 A 官民協力して名和・末長地内に 38 区画造成され販売建築中である。中山地区にも推進していく。

建設課

### 地籍調査

- Q 1 年間の調査実施面積と終了までの年数は。  
 A 国の予算 10 力年計画で進めている。年間 5000 万円の予算で 2km<sup>2</sup>を調査している。残り 73km<sup>2</sup>あり、全区画終了まで 30 年以上かかる。

地籍調査課

### 道の駅の観光交流センター



訪れるドライバーに大山町の見どころを案内

9月11、12、13日の3日間、所管課の平成30年度決算審査を行った。  
 13日は道の駅観光交流センター、(株)D'sプランニング、県漁協御来屋支所を視察した。  
 観光交流センターの情報コーナーでの問い合わせ内容は80%以上が道路案内内である。  
 道の駅内は狭く繁忙期は商品販売・レストランともに販売機会を大きくロスしている。

### 水道会計

- Q 水道会計の現状は。  
 A 人口減少による利用料減と施設老朽化による維持費上昇で将来的には水道料金が2倍になると予測される。

水道課

### 親元就農支援交付金

- Q 事業の進展状況と申請件数は。  
 A 認定農業者などが経営移譲する3親等以内の後継者に月10万円(最長2年間)交付する。平成30年度は15人(男12、女3)に助成した。

農林水産課

### 非農地認定

- Q 非農地認定の規定は。  
 A 非農地とは森林化などした遊休農地で復元がむずかしい農地のことをいう。農業委員15人と利用最適化推進委員15人で、非農地を認定する。

農業委員会

# あなたの声を町政に

14人が町長・教育長に一般質問を行いました。

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

大山町は、1人60分以内の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

ページ	質問事項	質問議員
15	1. 部落差別解消推進法の施行と部落差別の実態にどう学んでいるか 2. 地方自治体の認識について	西山 富三郎
16	1. 将来を見据えた財政運営について 2. 教育環境の充実と支援体制について	森本 貴之
17	1. 青少年の健全育成について 2. 祭りを生かした観光振興について 3. 町立図書館の活用について	近藤 大介
18	1. 真の働き方改革とは 2. 「地域自主組織」の今と協働の地域づくりとは	吉原 美智恵
19	1. 「財政運営について」 2. 「農業を取り巻く気がかりなこと」	西尾 寿博
20	1. 窓口対応について 2. 町の観光行政と大山観光局の関係について 3. 給食費等の公会計化について	門脇 輝明
21	1. 喫煙対策について 2. 高齢ドライバーの事故対策について 3. 災害時の電源とトイレ対策について	大原 広巳
22	1. 大山町の人口減少をどう考えるか 2. 大山町の観光振興「インバウンドをどう考えるか」	大杖 正彦
23	1. 同和対策は見直しを 2. 保育の無償化に伴う対応は	大森 正治
24	1. ペダル踏み間違い防止装置の購入助成を 2. 公共施設に屋外避難階段の設置を	加藤 紀之
25	1. 幼児教育・保育無償化への対応は 2. ユニバーサル社会についての認識は	岡田 聡
26	1. みくりやポートフェスティバルの再開は 2. 職員の休日は確保できるのか	米本 隆記
27	1. 共感できる大山町に 1. 耕作放棄地等への太陽光発電設置許可を	池田 幸恵 野口 昌作

# 一般質問席

議事録は、議会事務局や議会ホームページで閲覧できます。

# 水平社宣言の内容は

教育長 団結・自立・誇りを示している



西山 富三郎 議員

教育長



日本初の人権宣言

【西山】 部落差別解消推進法が施行されている。今、先人の心に思いをいたし、水平社宣言の内容をたずねる。

【教育長】 1点目は、「団結」こそが運動を推進する原点だということである。2点目は、自立、自闘を強く訴え、自分たちの力で解放を達成するという精神を訴えている。3点目は、被差別の人々が自分の立場を隠そうとするならば、運動そのものが成り立たず、そのこと自体が差別になることを示している。4点目は、部落解放運動は、決して部落の解放だけではなく、全人類の解放をなすということである。「人の世に熱と光を」取り戻そうということだと考える。

【西山】 差別の現実に学ぶとは。

【教育長】 人としての誇りを失わず、差別と闘った人々の生き方を学び、学びを通して一人ひとりが差別をなくす取り組みにつながることをだと思ふ。

# 地方自治体の認識は

町長

自立した地方政府と考えている

【西山】 地方自治体は国の根源といわれるが。

【町長】 国と地方は対等平等の関係であり、地方自治体は自立した地方政府と考えている。

【西山】 自治基本条例を制定すべきと思う。

【町長】 全国的に賛否が分かれており、熟慮したい。

【西山】 対話、共感、協働で新しい豊かさ、知恵や力を貸してくれる人が増え、地域の質が高まっているか。

【町長】 町民、集落などとともに力を合わせてまちづくりを進めており、地域の質は高まったと思っている。

【西山】 行政はすべてオープンであるか。

【町長】 オープンであるべきと常に思い、そのように進めている。

【西山】 腐敗対策はどのように心得ているか。

【町長】 常にコンプライアンスに努め、情報

【西山】 地方自治体の施策は人権が基本と思うが。

【町長】 人権尊重の視点に立った施策を実施している。



町村は地方政府である



森本 貴之 議員

# 事業見直しなど検討は

町長

各課に検討させている



住民福祉の増進になる財政運営を

【森本】事業見直しに当たって、職員数ありきではなく、人件費総額や委託料なども考えていくべきではないか。

【町長】そう考えている。職員数を減らしても外注や臨時職員が増える。これでは行財政改革にはならない。

【森本】小学校建設基金の背景と今後の活用は。

【町長】旧町からの積み残しで、整理する必要がある。

【森本】合併振興基金の活用を考えるべきでは。

【町長】近年あまり使っていない。有効活用をしていきたい。

【森本】会計年度任用職員制度導入の影響は。

【町長】臨時・嘱託職員がそのまま移行した場合、フルタイム会計年度任用職員は退職手当の対象になり、昇給もある。令和2年度は6700万円増となる見込みだ。

【森本】30年度決算で委託料は4.5%増となっている。事業見直しなど検討は。

【町長】財政担当と各課に委託料が経費削減になっているのか検討させている。

# 教育において 課題となるものは

教育長

自主的に課題にかかわる力の育成

【森本】地域の魅力を生かした、ふるさと教育が進められている。これからの教育において課題となるものは。

【教育長】与えられた課題に取り組むだけでなく、自分で何ができるのか考え、自主的に課題にかかわる力を育成すること。

【森本】バリアフリー対策の現状は。

【教育長】安全かつ円滑に施設利用できるようスロープ設置など対策をしている、すべてがバリアフリー化されていない。修繕など行いたい。

【森本】通学路における危険箇所の把握は。

【教育長】毎年通学路



地域で育むふるさと愛

の確認をしている。危険箇所は学校、教育委員会、町長部局、警察、場合によっては県土整備局などと連携をはかり対応している。

【森本】避難所となる学校施設の受け入れ機能、防災教育などの取り組みは。

【町長】町職員が避難所運営にかかわる。運用、運営方法などさらに学校関係者、地域と協議する必要がある。





近藤 大介 議員

# 校区をこえた仲間づくりを

教育長 検討していきたい

【近藤】地域の未来を担う青少年の健全育成のために地域が果たすべき役割、課題は。

【教育長】全国的に社会情勢の大きな変化にともなう家庭や地域の教育力の低下が心配されており、本町でもそのような傾向にある。地域が果たすべき役割は、地域の大人が地域の子どもにかかわり、見守ることだと考える。そうしたかわりが少なくなっている現状があり課題である。

【近藤】本町の年間出生数は80人ほどで、少子化が進むなか、少年期から校区をこえた仲間づくりが大切と考える。

小学校6年時や中学校1・2年時などに、大山青年の家を利用し、町内の同級生が交流できる夏季合宿を行えないか。

【教育長】今後、検討していきたい。



地域の伝統文化を守り、生かす(八幡神社)

## 観光資源でもある 祭りを文化財に

町長

指定に向け 調査したい

【近藤】本町の特徴ある祭りを観光資源として生かしていく考えは。

【町長】地元と協議しながら、観光情報として発信していきたい。

【近藤】国信神社、逢坂八幡神社御幸行列および御来屋の船曳き神事について、町の無形

文化財に指定する考えは。

【町長】国信神社、逢坂八幡神社御幸行列は、町文化財保護審議会の調査候補に上がっており、文化財指定に向け調査していきたい。御来屋船曳き神事も、今後検討したい。

# 「読書通帳」の導入は

教育長 読書意欲の向上に期待できる

【近藤】図書館は社会教育の拠点であり、地域の貴重な財産である。利用状況や課題は。

【教育長】子ども向けの分野は充実しているが、図書購入の予算が少なく、図書の充実が必要である。

【近藤】「読書通帳」(銀行の通帳のようなもので借りの情報が記録できる)を導入した図書館では貸し出し実績が向上している、本町で導入の考えは。

【教育長】読書意欲の向上に効果が期待できるので、検討していきたい。



心うらおう空間(町立図書館)



吉原 美智恵 議員

# 真の働き方改革とは

町長

## AIなどで環境整備する



職員の働き方は変わるか

【吉原】現役最年少市長が「働き方改革」に挑戦している四条畷市では、職員一人ひとりの生産性を高めることにより、市民サービスの上上をはかるための改革を行っている。市では、働く職員の意識改革が最も大事であるとして成果を上げている。

本町での取り組みは。

【町長】人口減少などの課題解決に向け、職員が能力を発揮できる環境をつくることと考える。職員が創意工夫

によって新たな課題に向き合えるよう、AIなどを取り入れ業務を行っている。

【吉原】市では、非正規職員から部長級まで参加する「働き方プロジェクトチーム」を立ち上げ、チームワークやコミュニケーションを大切にし、その人にかかわらない業務の解消と課内の情報共有で残業が減り、成果を上げている。

研究してみても。

【町長】本町の取り組みを進めていく。

# 地域自主組織の協働のまちづくりは

町長

## 地域課題の解決を支援する

【吉原】地域自主組織の取り組みは行政主導でなく、住民参加によるまちづくり活動と認識している。それぞれの活動や成熟度に差があるなか、どのように協働したまちづくりをめざすのか。

【町長】今年中に10地区すべてで自主組織が設立される。集落支援員の配置と、補助金で財政支援をする。

自主組織は、町の業務を一方的に担う下請け的な役割ではなく、地域課題や住民ニーズの解決策を考える団体だと考えている。

【吉原】自主組織間で差があり、そのうえ住民全体のものになって

いないのではないかと。また、イベントや地域貢献など、役員中心でやっている。ボランティア疲れも懸念される。

各地区の高齢化も心配されるが、モチベーションアップや後継者づくりのためにも、事業委託も必要では。

【町長】事業委託したからといって活性化するとは思えない。



まちづくりの拠点



西尾 寿博 議員

# 町政の展望は

町長

## 持続可能なまちをめざす

2019/9/12 現在						
債券運用状況						
銘柄名	運用資産	発行日	満期	額面残高	評価残高	実質残高
利付国債(30年)第51回	基金	2016/6/20	2040,000	2,011,000	5,114,830	
利付国債(30年)第51回	繰上現金	2016/6/20	1,250,000	1,706,000	2,650,014	
利付国債(30年)第51回	繰上現金	2016/6/20	1,250,000	2,096,000	2,928,192	
利付国債(30年)第51回	基金	2016/6/20	2,500,000	6,206,000	7,995,453	
			1,250,000	3,523,000	4,362,179	

2019/9/2 現在						
債券運用状況						
銘柄名	運用資産	発行日	満期	額面残高	評価残高	実質残高
利付国債(30年)第51回	基金	2016/6/20	200,000	14,100,000	12,861,000	15,464,836
利付国債(30年)第51回	繰上現金	2016/6/20	200,000	4,700,000	5,246,000	6,106,014
利付国債(30年)第51回	繰上現金	2016/6/20	200,000	4,700,000	5,516,000	6,978,192
利付国債(30年)第51回	基金	2016/6/20	200,000	9,400,000	13,166,000	14,685,453
利付国債(30年)第51回	基金	2016/6/20	200,000	4,700,000	6,973,000	7,812,179
利付国債(20年)第157回	繰上現金	2016/6/27	200,000	16,400,000	19,880,000	22,759,453
農林中央中金28年度第1回公募公債(30年)	基金	2016/9/30	352,369	30,450,000	30,450,000	35,382,369
埼玉県第5回30年公募公債	基金	2016/7/12	200,000	▲420,000	▲420,000	880,000
東京都公募公債(20年)第3回	基金	2016/7/30	207,802	900,000	900,000	1,367,802
第22回川崎市20年公募公債	基金	2016/4/29	200,000			

町が保有する債券一覧

〔西尾〕人口減少により自主財源は減り続け、国からの交付税は10年間で約10億円減少した。  
竹口町政の今後の展望は。  
〔町長〕持続可能なまちづくりのために、人口減少対策に力を入れる。  
〔西尾〕37億円を債券運用しているが、特に年度ごとに決済する歳計現金分7億円の運用は問題はないか。

〔町長〕債券は、30年債についても、基本は満期日まで保有する。歳計現金運用については売却も検討したい。  
〔西尾〕今後は、AIなどを活用した事務作業が進むと考えるがどうか。  
〔町長〕AIやRPAなどコンピュータによる事務作業の自動化などで、住民サービスの維持をはかりたい。そのためプロジェクトチームを立ち上げて検討していく。

# 農地の維持・管理は

町長

## さまざまな支援で取り組む

〔西尾〕耕作放棄地が増えるばかりだ。それに関係してか、有害鳥獣の捕獲数は年々増加し、最近では海岸部近くまで出没するようになった。農地が荒れて、隠れる場所が里部にも増えた結果ではないだろうか。

使われていない農地をどう活用していくのか。また、農業者の高齢化が進み、道路、水路、土手、畦などの管理がむずかしくなっている。どのように対応していくのか。  
〔町長〕平成26年度から、農地中間管理機構を核に人・農地プランの取り組みを始めた。今年から実質化に向けた取り組みを進める。



たびたび起こる災害

地域の実情に合わせて農地を誰が担うのか、誰に農地を集約、集積化するのかを地域内で話し合い、プランを作成し実施することで、地域の農地や農業を守

る。  
本町でも、新規就農者の支援や、中心経営者育成事業、集落営農組織への機械導入支援など積極的に取り組んでいく。



門協 輝明 議員

# 転居時の世帯の扱いは

町長

一定の基準がある

【門協】住所が同一であれば、先住者の世帯に加わらなければ転居届を受理できないか。  
 【町長】前提としてその住所に住む意思が必要で、日常生活に不可欠な要件が別でなければ別世帯にはできない。  
 昨今、少子高齢化などにより施設入所した遠縁の親戚をやむをえず自身の住所に住民登録する例が増加している。  
 住民登録ができないと、行政サービスを受けられない場合も懸念される。そのため、一定の基準を設け、別世帯として取り扱いができるようにした。  
 【門協】日常業務において住民ファーストの徹底を。  
 【町長】常に住民目線に立ち、相手の気持ちを思いやる窓口対応でなければならない。



観光振興を担う大山観光局の案内所

## 町の意思の伝達は

町長

言うべき所で言う

【門協】大山観光局に期待する役割は。  
 【町長】①イベントの実施、体験型ツアーの企画運営など②地域の情報発信③町内観光素材の開発とガイドなどの人材育成である。  
 【門協】大山観光局の理事会や総会で町の意思を伝えていくか。  
 【町長】議事録に記載はないが、それ以外の場で伝えている。  
 【門協】町と議会の関係と同じで、言うべきところで言う緊張感のある関係を持つべきだ。  
 【町長】そう思う。

# 給食費の公会計化は

教育長

検討する



給食は食育の柱

【門協】給食費の徴収方法は。  
 【教育長】給食費の決定から精算までを大山地区・名和地区は学校給食センターが、中山地区では各学校が行っている。  
 【門協】公会計化の動きをどう考えるのか。  
 【教育長】事務量や職員配置などをふまえ検討する。  
 【町長】県で高校通学費補助や保育の副食費補助が検討されている。新しく生まれる財源で給食費全額補助も考えられるので検討する。



大原 廣巳 議員

# 喫煙者への対応を

## 町長 様子を見る

〔大原〕国の改正健康増進法により、さらなる分煙化が推進された。

公共施設の人の出入りの少ない場所に、喫煙所が必要ではないか。

〔町長〕敷地外での喫煙をお願いしている。今のところ様子を見ている。

新たな喫煙所設置は考えていない。

〔大原〕大山寺参道などの観光地では、喫煙所の設置や表示が必要ではないか。

増加している外国人観光客対応や、ポイ捨てによる草火災の予防になると思うが。

〔町長〕大山寺周辺では、ナショナルパークセンターと観光案内所の2カ所に屋外喫煙所を設置している。

博労座などでは、タバコの吸殻などのごみも出ているので、表示や案内板の設置など、今後検討したい。



少しでも長く運転を

# 高齢者の自動車 事故防止策を

町長

## 県の動きを見守る

〔大原〕高齢者による車の操作ミスで、重大な事故が増えている。

運転免許証の返納も必要だが、生活の足として、できるだけ乗っけていただきたい。行動半径が縮むことによる引き込みも心配だ。

事故防止装置も、以前より安価となって、

4万円ぐらいからある。

県も助成制度を検討している。本町もどうか。

〔町長〕高齢者の事故防止はみんなの問題であるが、まずは県の動きを見守り、必要な対応を考えたい。

# 災害時の予備電源は

教育長

## 検討していく

〔大原〕昨年の北海道地震のような全域停電は無いとしても、台風15号による千葉県での部分的な長期停電は無いとはいえない。

多くの避難者が収容可能な小・中学校の予備電源や、トイレの対策は十分か。

〔教育長〕災害時の予備電源は設置していないが、可搬式の電源は必要だと考える。有事の際の調達方法を検討してみたい。

トイレの洋式化は推進するが、増設は検討していない。



避難所機能向上が必要な大山中学校



大杖 正彦 議員

# 人口減少にどう対応するか

町長

## 有効な施策で減少を抑える



未来をも語る自主組織会議

【大杖】日本の人口は8年間で183万人減少した。  
 大山町は65歳以上が50%以上の限界集落が34、55歳以上が50%以上の準限界集落が127あり、20年後には人口が1万人を割ると推測される。大幅な人口減少で緊縮財政を余儀なくされても、住民サービスをゼロにするわけにはいかない。  
 住民が主体となったまちづくりが望まれるが、町長はどう対応する考えか。

【町長】人口減少は避けて通れない。1万人を割っても住民が心豊かに楽しく暮らせるべきと考える。  
 減少を抑制するため子育て支援や住宅環境整備を進める。  
 【大杖】人口減少に合わせ「小さな行財政」をめざすべきである。住民の力を活用する考えから無駄な事業を削減し、徐々に委託する施策が求められるが。  
 【町長】各課で自主組織から管理運営の要望を受けて調整し条例改正を行い、指定管理者として業務を委託したケースもある。

# 外国人観光客を

# 呼び込むには

町長

## 来訪者満足度を高めたい

【大杖】人口減少を最低限に抑えた持続可能なまちづくりには、大山町の基幹産業である第1次産業と観光の振興が重要であると町長は述べている。  
 2020東京オリパラ、2025大阪万博とビッグイベントが続き、外国人観光客の増加が見込まれる中、観光振興に欠かせないインバウンドへの取り組みは。



大山の魅力を堪能する外国人観光客

【大杖】来訪客が増えなくても日帰りで消費が伸びないという課題が大きい。  
 【町長】町内の集落、まちづくりの組織などに活動してもらい、伝

統行事や催し物を継承し、訪日外国人客へ提供してもらいたい。今後はアドベンチャーツーリズムの体験型旅行が主流となる。

# 同和対策は見直しを

## 意識や差別の現状から検討する

町長



大森 正治 議員

【大森】1969年か

らの同和対策事業によつて、劣悪な地区の環境をはじめ進学・就職、結婚問題も大きく改善された。

国の特別対策は2002年に終了したが、県も町も今なお継続している。

同和問題は、社会問題としては基本的に解決した状態にあると言えるが、現状をどう認識しているか。

【町長】生活環境の改善など一定の成果をあげてきたが、ネット上で部落差別が深刻化している。現在でも続く

重大な社会問題である。

【大森】同和問題が解決された状態とはどんな状態と考えているか。

【町長】結婚などいまだに差別現象が発生している。このような差別意識や偏見が解消された状態と考える。

【大森】地区限定の特別対策は終了し、人権全般の啓発に切り替えたらどうか。

【町長】住民意識や差別の現状に照らし、内容や継続の是非をその都度検討する。



同和地区も地区外もない社会を

# 無償化で生まれる

# 財源の活用は

町長

## 新たな子育て支援策を検討する

【大森】国の施策で、10月から幼児教育・保育の無償化が実施され、3〜5歳児の世帯と0〜2歳児の住民税非課税世帯の保育料が無料になる。

無償化の対象外である副食費は、本町の施策として引き続き無償とするのか。主食費も同様か。

【教育長】3歳以上児の無償化を継続し、町で負担する方針である。昨年度から完全給食を実施しており、主食費も同様に町負担とする。

【大森】国の無償化によつて、本町が実施している保育料無償化のための財政負担が軽減

され、財源が浮く。それを活用して保育施策の拡充をしないか。

【町長】国の無償化で浮く財源が2500万円

円〜3000万円程度

ならば、たとえば未満児の無償化も考えられる。新たな支援策を検討したい。



さらなる保育の充実を



加藤 紀之 議員

# 高齢ドライバーを守れ

町長

県の制度で事故を防ぎたい



自動車に貼られたシルバーマーク

【加藤】高齢者のペダル踏み間違いによる事故が相次いでいる。事故による被害を防ぐのはもちろんだが、高齢ドライバーを加害者にしないことも大切だ。

本町は、自動車がないと日常生活に不便をきたす。高齢者の生活を守るためにも、ペダル踏み間違い事故防止装置の設置費を補助してはどうか。

【町長】今年度、県が設置費補助金を創設す

る予定で、その制度を周知し高齢ドライバーの事故を減らしたい。

【加藤】県の制度の対象者数では少なすぎる。県に先んじてでも制度を考えるべきだ。

装置を設置する店舗を町内に限定すれば、経済波及効果も見込めるのではないか。

【町長】県の制度でカバーしきれない部分があれば、そのような方法で補うのは一つの手段だと思う。

# 屋外避難階段の設置を

町長

法令上の基準は満たしている

【加藤】7月に発生した京都アニメーション

放火事件で、改めて火災の恐ろしさを目の当たりにした。もし屋外避難階段が設置されていたら、被害はここまで拡大しなかったかもしれない。

本町では、屋外避難階段が設置されていない公共施設が多いのではないか。設置すべきと思う。

【町長】関係法令に適合するよう、屋内、屋外に避難階段を設置している。

総合的な火災対応が確実にできることが重要と考える。

【教育長】法令上、2方向避難が求められており、教育委員会が管理する施設でも基準は

満たしている。

【加藤】役場本庁で、議会の本会議中に火災が発生したら、町長、管理職、議員という、重要な職責にある者が

同時に巻き込まれる危険性がある。  
【町長】現状で新たに設置はむずかしいが、考慮したい。



名和公民館の屋外避難階段





岡田 聡 議員

# 幼児教育・保育の無償化への対応は

町長

新しい施策を考えたい



どの子にも等しく質の高い保育を

【岡田】本年10月1日から消費税増税に合わせ、幼児教育・保育の無償化が実施される。0～2歳児は住民税非課税世帯のみと3～5歳児は原則無償となる。

家庭の経済状況に左右されることなく等しく質の高い教育・保育を受けられるようにする、という狙いがある。

保育の質を向上させるには、保育士の待遇改善も必要と思うが。【教育長】近年、保育

士確保が困難な社会情勢を背景に、昨年度から今年度にかけて、嘱託・臨時保育士の待遇改善を行ってきた。さらに、次年度は会計年度任用職員制度が開始となり待遇改善となる。

【岡田】本町が先んじて行ってきた、3歳児以上無償化が一律となる。

さらに特色ある人口減少対策を打ち出すべきと思うが。

【町長】浮いた財源で、新しい施策を考えたい。

## ユニバーサル社会の認識は

町長

取り組みを進めたい

【岡田】すべての国民が、障害の有無、年齢などにかかわらず、等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるという理念に則り、自立した日常生活および社会生活を確保するためのユニバーサル社会実現推進法が制定されている。住みよい街づくりのために、ユニバーサルデザインを考慮しているか。7原則は。

【町長】街づくりでは、スロープや手すりの設置、多機能型トイレを導入するなど、7原則をふまえた施設整備を行っている。

【岡田】ユニバーサルデザインマップを本町のPR紙などに取り入れれば、より分かりや

すく親しみやすい、宣伝効果の高いものになると思うがどうか。

【町長】日本人のみならず外国人も含めた多様な人々が求める情報を簡易的に取得できるという特徴がある。今後、取り組みを進めていきたい。

### ユニバーサルデザインの7原則

- 1、どんな人でも公平に使えること。
- 2、使う上での柔軟性があること。
- 3、使い方が簡単で自明であること。
- 4、必要な情報が直ぐに分かること。
- 5、うっかりミスを許容できること。
- 6、身体への過度な負担を必要としないこと。
- 7、利用のための十分な大きさと空間が確保されていること。



衆本 隆記 議員

# ポートフェスティバルの再開は

町長

実施となれば携わっていく

【米本】先日、中学生議会が開かれみくりやポートフェスティバルが議題となった。

昨年から休止となったが、再開を願う人は多いと思う。長期間再開できないければ、復活はむずかしいだろう。

本町を代表するイベントだったので、来年度にも再開できたらと思うが、何が必要か。

【町長】各種団体の構成員の減少で、特定の人に負担がかかっていた。実行委員会は解散したが、復活の際は協

力してもらえると聞いている。実施となれば行政としても携わっていく考えである。

中学生も手伝うと言っていたが、中学生議会を行ったテゴテゴプロジェクトが主催者となり、大人が協力するののも一つと思う。

【教育長】中学生有志が地域の大人と協力して取り組むことは意義深いことだ。

子どもたちへの支援として、公民館などで何らかのかかわりを持てればと考える。



人気のあった後醍醐レース

# 休暇の取得は適切か

町長

時期を指定して取らせる

【米本】行政を動かすには職員力は大きいと思っっている。

今年度から、リフレッシュして良い仕事ができるように、有給休暇を与えなくてはならなくなつた。部門によればなかなかむずかしい所もあると感じる。果たして実行できるのか。

振替休暇の取得や、課の適切な人員配置はどうか。

【町長】有給休暇は条例にもとづき付与している。しかし、イベントなどがある課などでは、取得日数に隔たりがある。

今年度から10日以上有給休暇がある職員は上司と面談し、時期を指定し5日以上取得させている。仕事量は常

に変化するもので、その都度、適正な人員配置を心掛けている。

【教育長】社会教育課は土日の事業が多いので、振替休暇を取らせている。それにもなう準備や夜の会合などもあり、時間外が集中する傾向にある。

幼児学校教育課の幼児教育室では、土曜出勤の保育士に振替休日を取らせている。学校教育室では生徒下校後に学校事務や生徒指導などの問い合わせがあり、ここも時間外が多い。



休暇を楽しむ家族

# 共感できる大山町に



池田 幸恵 議員

町長

## 情報共有が大切である

〔池田〕「10年プラン」の実現のために実施計画が毎年見直しされている。住民への事業内容や変更時の周知方法は。

〔町長〕広報やホームページなどを通じて行っている。

〔池田〕SNSでの情報発信はどうなっているか。

〔町長〕職員プロジェクトチームを昨年3回開催した。総務課広報室で取り組んでいる。

〔池田〕変更した場合、住民からの意見はどのように吸い上げているか。

〔町長〕住民の声を聞いて修正をしている。

〔池田〕機構改革が行われた際、議会も混乱があった。町長と職員との情報共有はどのようにされたか。

〔町長〕機構改革については職員も把握していると思う。担当の変更などで議会に十分な周知ができていなかった。

〔池田〕住民と同じ立場で共有することが大切ではないか。

〔町長〕情報共有は大切だと考える。



毎月発行の広報だいせん

# 耕作放棄地に 太陽光発電の許可を

町長

## 農振地域は許可しない



野口 昌作 議員

〔野口〕耕作放棄地の状況は。

〔町長〕平成28年が87ha、平成30年が90haとなっている。

〔野口〕農業従事者の推移は。

〔町長〕平成17年が3631人。現在は推定約2000人である。

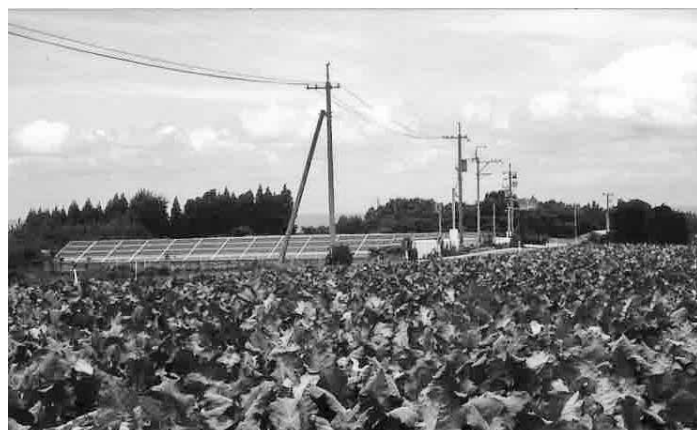
〔野口〕農振地域で太陽光発電を許可しないと決めた理由と年は。

〔町長〕平成27年に農

業を守るため決めている。

〔野口〕集団農地からはずれた耕作不便地で、現在耕作放棄されている土地は、今後利用されることはほとんどないと思う。このような土地に設備を許可しないか。

〔町長〕農用地区域の農地を設備用地と利用することは認めないよう定めているので、許可はしない。



畑の隣にある太陽光発電

# 地に学ぶ

総務常任委員会は、  
令和元年7月23日～25日、  
滋賀県、奈良県、大阪府の  
2市2町村を行政視察しました

## 琵琶湖一周 「ビワイチ」

### 滋賀県守山市

サイクリストの聖地「しまなみ」の成功事例を徹底的に研究し、守山市へ生かそうと、「ビワイチ起点のまち守山市」のまちづくりを開始した。

守山市は滋賀県の交通の大動脈である琵琶湖大橋のたもとに位置しており、京阪神・名古屋からのアクセスも良好であり、高低差もほとんどなく、立地特性も有効に生かされていた。

計画と実施は専門性の高い職員で実施されており、民間との共同戦略も工夫が施されていた。



ビワイチの風景

## 全国最年少市長が 先導する働き方改革

### 大阪府四條畷市

四條畷市での働き方改革では、対話を通じて職員一人ひとりの働きが住民のためになるという考えのもと改革を進めている。

自らの考えで働くことが改革につながるのと視点は参考となった。

働き方改革とは残業時間を減らせれば良いというものではなく、職員の意識改革が最も大切であると感じた。

## テレワークを活用した 母親雇用創出事業

### 奈良県上牧町

「結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくるには、どのような支援が効果的だと思いますか。」という問いに対し住民の答えは、

1位 安定した雇用機会の提供

2位 夫婦がともに働き続けられるような職場



母親のとなりで保育中のママスクエア

3位 環境の充実  
女性が働きやすい環境づくり

施策案として「子どものそばで働きたい」、「シフト調整など時間の融通がきく」、「職場や同僚の理解」の3点を掲げる。

「ママスクエア」では母子がすぐ近くにいることで保育所とは異なる安心感や魅力があったと感じられた。

## クラウドファンディング を活用した古民家

### 奈良県明日香村

古民家リノベーションによる集客拡大では事務局、担当者の熱意と商工会が観光の一端を担うことで経済波及効果につながることを実感した。また、地域資源を生かし、民泊ブームを捉えた官民一体の取り組みは模範とするべきものがあつた。

大山町の事業を鑑み、補助金などを当て込んだ事業については慎重な吟味が必要だと思った。



リノベーションされた古民家

# 先進

# 視察報告

経済建設常任委員会は、令和元年7月22日～24日、兵庫県、和歌山県の3市2町を行政視察しました

## DMO及び城下町ホテル

### 兵庫県豊岡市・丹波篠山市

豊岡DMOは基金2870万円（豊岡市2000万円、民間企業870万円）でインバウンドにかかるマーケティング業務とそれを基本にした地域や事業者相互の連携や情報発信事業の企画・提案を主な事業として行い成果を挙げていた。

篠山市では、古民家再生が観光地づくり、地域振興に生かされDMOのモデルとなっている。

篠山城下町ホテルNIPPONIAに実際に宿泊し時計やテレビのない生活を体験した。



時計のないフロント



森林組合事務所

## 森林管理制度の取り組み

### 和歌山県みなべ町

みなべ町は、面積120km<sup>2</sup>、森林面積81km<sup>2</sup>で、大山町（190km<sup>2</sup>、113km<sup>2</sup>）に比較すると面積は少ないが、事業エリアを同町と一にするみなべ川森林組合がバイオマスの取り組みや里山保全活動などを積極的に進めていた。

「地域の山は、地域で守る。」ことは、当然であるが、全国的にそのようになつていない。大山町の森林をどう守っていくか、改めて地域で考えていく重要性を感じた。

## 農業からの6次産業化

### 和歌山県田辺市

上秋津地区は人口3300人、市街地からの人口流入が続く、みかんや梅を栽培する農村地域である。

平成11年に地域住民の出資で作った農産物直売所が成功し、4年後には大型店舗と農産物加工場を新築した。

平成20年、地区内の廃校舎を買い取り、コミュニティの拠点施設に改修、新たに宿泊棟、レストラン棟を整備した。

現在、貸し農園、レストラン、民泊の推進、田舎暮らし支援、新規就農支援、ICTオフィス事業、大学生や外国人のワーキングホリデー受け入れなど、多様な事業を行っている。

過去に水害によって被災したが、その存続の危機を乗り越え、蘇らせた深い結びつきがリーダーを支え、移住者も巻き込み、地域農業を持続可能なものに作り変えたと考えられる。

## 漁業から滞在型複合施設へ

### 和歌山県白浜町

白浜とれとれビレッジは、堅田漁業協同組合が経営する直売所のとれとれ市場を中心に温泉、養殖場、釣堀、屋形船、回転ずし店、発泡スチロール製パングダ型の宿泊施設などを擁する滞在型の複合施設であった。

「とれとれ市場」は、鮮魚をはじめ、特産品である梅製品や菓子などのお土産品、購入した鮮魚などを食べられるバーベキュー場など10コーナーもあり、集積された商品は地域の活力を表していた。



パンダ型宿泊施設

# 議会からのお知らせ

## ◇ 議員と語る会 を行います

毎年恒例となりました「議員と語る会」を行います。今回は、6カ所の会場で自由な意見交換を行います。ぜひお誘いあわせてご参加ください。

※申し込みは不要です。直接会場にお越しください。どの会場でもご参加いただけます。

日 時	会 場	参加議員
11月11日(月) 午後7時から	保健福祉センターなわ	大森正治、近藤大介、西山富三郎 野口俊明、森本貴之
11月12日(火) 午後7時から	高麗コミュニティセンター	吉原美智恵、岡田 聰、西尾寿博 大原広巳、門脇輝明
11月12日(火) 午後7時から	まなびの里甲川 (旧上中山保育所)	大杖正彦、加藤紀之、野口昌作 米本隆記、池田幸恵
11月13日(水) 午後7時から	生活想像館	大森正治、近藤大介、西山富三郎 野口俊明、森本貴之
11月14日(木) 午後7時から	香取香雲荘	吉原美智恵、岡田 聰、西尾寿博 大原広巳、門脇輝明
11月15日(金) 午後7時から	大山農村環境改善センター	大杖正彦、加藤紀之、野口昌作 米本隆記、池田幸恵

### 「災害時に議会は何をすべきか」

～西部町村議会議員研修会～

8月30日、災害時の議会の役割・責任として、「執行部に個別案件を持ち込まない」、「復旧、復興へ向けた議論を主導」など、議員の役割を聞きました。



西部の議員が一堂に会して研修

### タブレット端末導入の 日南町議会を視察

～議会改革調査特別委員会～

8月23日、現在設置している議会改革調査特別委員会で、タブレット端末を導入している日南町議会を視察しました。議員全員にタブレット端末を貸与し、議案集として活用するなど電子化を進めていました。

### 議長交際費

平成30年度の議長交際費は8万3000円でした。

(詳細は議会ホームページをご覧ください)



## 視察受け入れ ～広報常任委員会～

10月2日、徳島県東みよし町議会の広報特別委員会が、議会広報紙の編集について視察研修に来庁されました。

11月13日には福岡県添田町議会から視察来庁予定です。



東みよし町から5人が来庁

## 議会だよりの編集を学ぶ ～広報常任委員会～

7月10日、全国町村議会議長会主催の議会広報紙編集に関する研修会に参加しました。

8月7日、鳥取県町村議会議長会主催の議会広報紙編集に関する研修会に参加しました。



三朝町での研修に参加

# 7月臨時会（7月17日）

## 小学校のタブレット端末を更新

一般会計補正予算、財産の取得について、の2議案を賛成多数で可決しました。  
補正予算の主なものは法人町民税の還付金で、財産の取得については小学校で使用するタブレット端末の更新です。

## 討論

### ○反対

【加藤議員】算定された設計額が一般的な価格とかけ離れている。公金は、一般競争入札で有効につかうべき。

## 質疑

### ◇適正な価格◇

【加藤議員】設計額は2100万円だが、インターネットで同じ機種を調べると1200万円ほどで購入できる。

◇入札方法◇

【門脇議員】法令上、一般競争入札が原則で、特別な事情がある場合に限り指名競争入札や随意契約が許されている。

◇入札方法◇

一般競争入札にしなかった理由はなにか。

【幼児学校教育課長】必要な機能を備えた機種で数社から見積もりをとり、コンピュータ関係に詳しい職員が算定している。

【総務課長】不信用・不誠実な業者をあらかじめ除くことで、速やかな財産取得を行うためである。

### ○賛成

【西山議員】質疑の答弁であったように、一般競争入札ではリスクが高いという説明には納得ができる。  
【門脇議員】仕様や質疑での説明などに不備な点はあるが、手続き自体は適正に行われている。  
タブレット端末が早く取得できることは、学習上の有意性が高い。



安達麻衣 (大山中3年)

公共交通機関の充実で広がる行動範囲

私が大山町にのぞむことは、公共交通機関を充実させてほしいということです。

私は、所子地区や高麗地区の中学校の友達に「〇ちゃんの家と一緒に遊ぼう」と誘われることがあります。でも、大山地区に住んでいる私は親の送り迎えがないと行くことができないので、不

便さを痛感します。

私がそうなら、車を運転しないお年寄りの方々は買い物などがとても不便だと思います。だから、大山地区から所子地区や高麗地区につながるバスなどが充実すれば、町民の生活も今以上に充実するのではないのでしょうか。

また、町民だけでなく、観光客の人たちにとっても町内での行動範囲が広がり、より大山町のことを知ってもらえると思います。



影山歩奏 (名和中3年)

大山町にのぞむこと

私が大山町にのぞむことは、子どもの遊べる場所を増やしてほしいということです。

私の住んでいる場所には丸広場という広場があります。昔は、そこで私の弟や近所の子どもが毎日楽しそうに遊んでいました。ですが3、4年前、住宅がいつぱいあるし、車が通って危ないという

ことで使えなくなりました。小学校からは、学校のグラウンドを使ってもいいといわれました。でも家から歩いて15分以上かかるため使うことはほとんどありません。そこで、私の家の近くにはと言いますが、子どもが遊べる場所を作ってほしいです。私は御来屋保育所跡地を使ってほしいです。あそこは、車が直接横を通るわけではないのでボールを使っても大丈夫だと思います。大山町の子どもがもっと外で遊んだりスポーツを楽しむ場所をつくってほしいです。



山下莉央 (中山中3年)

大山町の良さを知って もらいたい

私は、県外や街に住む人にもっと大山町を知ってもらいたいと思っています。

大山町には多くの田や畑があります。それを活用して野菜などの収穫体験してもらったり、実際に調理をしてもらったりして、大山町の食のお

いしさを伝えたらよいと思います。食のおいしさを伝えることで、大山町産の野菜などをアピールでき、収穫の楽しさと思いが残ります。最近では、農業体験をしたい人が増えていると聞きます。田や畑の多い大山町には、びつたりだと思えます。町主催のイベントを開催して、大山町の良さを多くの人に知ってもらえたら良いと思います。

黄金色に光る坊領米

あとがき

9月定例会は、活発な論戦が行われ、平成30年度一般会計決算が7対8と僅差で合併後初の不認定となりました。

決算は、すでに執行されたもののため、不認定になっても法的効力はありませんが、町長の政治的責任は問われます。予算編成での対応が注視されます。

さて、議会だよりは、開かれた議会を実践するため、編集に当たっては、いかにありのままを出るだけ早く、分かりやすくお伝えするかに心を砕いています。

多くの議会だよりが2ヵ月後発行されているところ、定例会後1ヵ月以内の発行に努力しています。

全戸配布であり、より多くの皆様に読んでいただきたいと願うところです。(岡田)

【発行責任者】

議長 杉谷 洋一

【広報常任委員会】

委員長 大森 正治

副委員長 池田 幸恵

委員 西山富三郎

委員 岡田 聡

委員 西尾 寿博

委員 野口 昌博

委員 大杖 正彦

委員 加藤 紀之